



2022年4月27日

各位

会社名 株式会社東光高岳
代表者名 代表取締役社長 一ノ瀬 貴士
(コード：6617 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 経営企画部長 若山 達也
(TEL：03-6371-5002)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は2021年4月30日に「東光高岳グループ2030VISION & 2023中期経営計画」を公表いたしました。2023年度の目標数値を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正内容

	2021年度	2022年度	2023年度	
	(実績)	(予想)	(当初計画)	(修正後)
売上高	919億円	930億円	900億円	950億円
営業利益	46億円	44億円	40億円	50億円
営業利益率	5.0%	4.7%	4.4%	5.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	32億円	30億円	25億円	35億円
自己資本当期純利益率 (ROE)	6.5%	5.7%	5.0%	6.4%
ROA (純利益ベース)	3.3%	3.0%	2.4%	3.4%

2. 修正の理由

当社グループは、「東光高岳グループ2030VISION & 2023中期経営計画」の目標達成に向けて、「コア事業の深化・変革」、「事業基盤の構造転換」、「2030将来像開拓への挑戦」の3つの基本方針のもと、日々カイゼン活動や調達改革などの生産性向上およびモデルチェンジ品の投入など販売拡大に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の動向、地政学リスクの高まり、資源価格高騰の影響など先行き不透明な状況が続いておりますが、当期の実績及び今後の事業環境等を勘案した結果、上記の通り2023年度の目標数値を修正いたしました。

主な理由は、電力機器および計量事業において需要が堅調に推移していること、エネルギーソリューション事業において電気自動車用急速充電器の需要が高まっていること、情報・光応用検査機器事業において世界的な半導体需要の急速な高まりにより三次元検査装置の受注が拡大したことなどによるものです。

引き続き、2030VISION達成に向け、コア事業の基盤再構築による変革と、6つの新領域の事業分野の開拓の両利きの経営により、総合エネルギー事業プロバイダーを目指した取り組みに注力してまいります。

(注) 上記の目標数値等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因によって目標数値等と異なる結果となる可能性があります。

以上